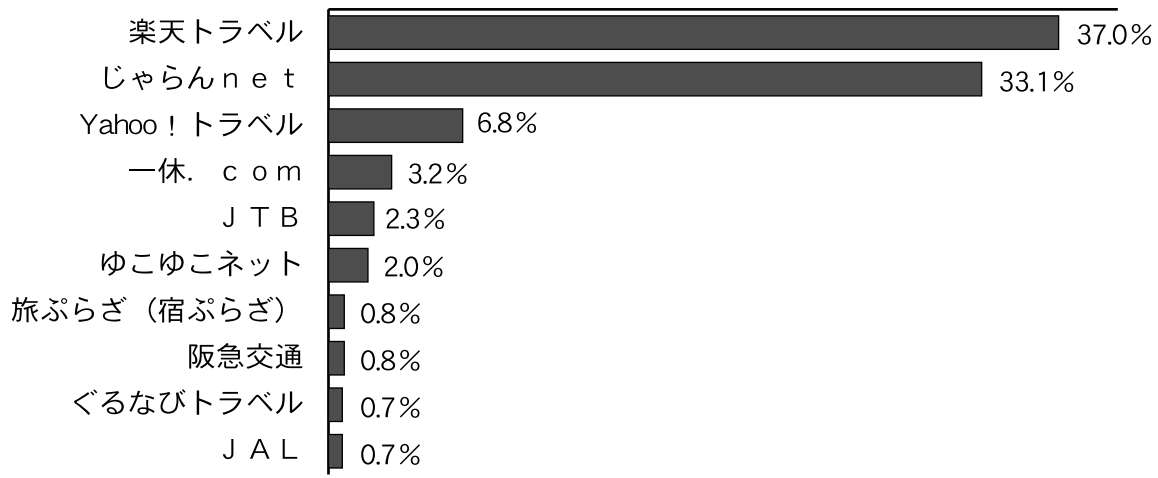
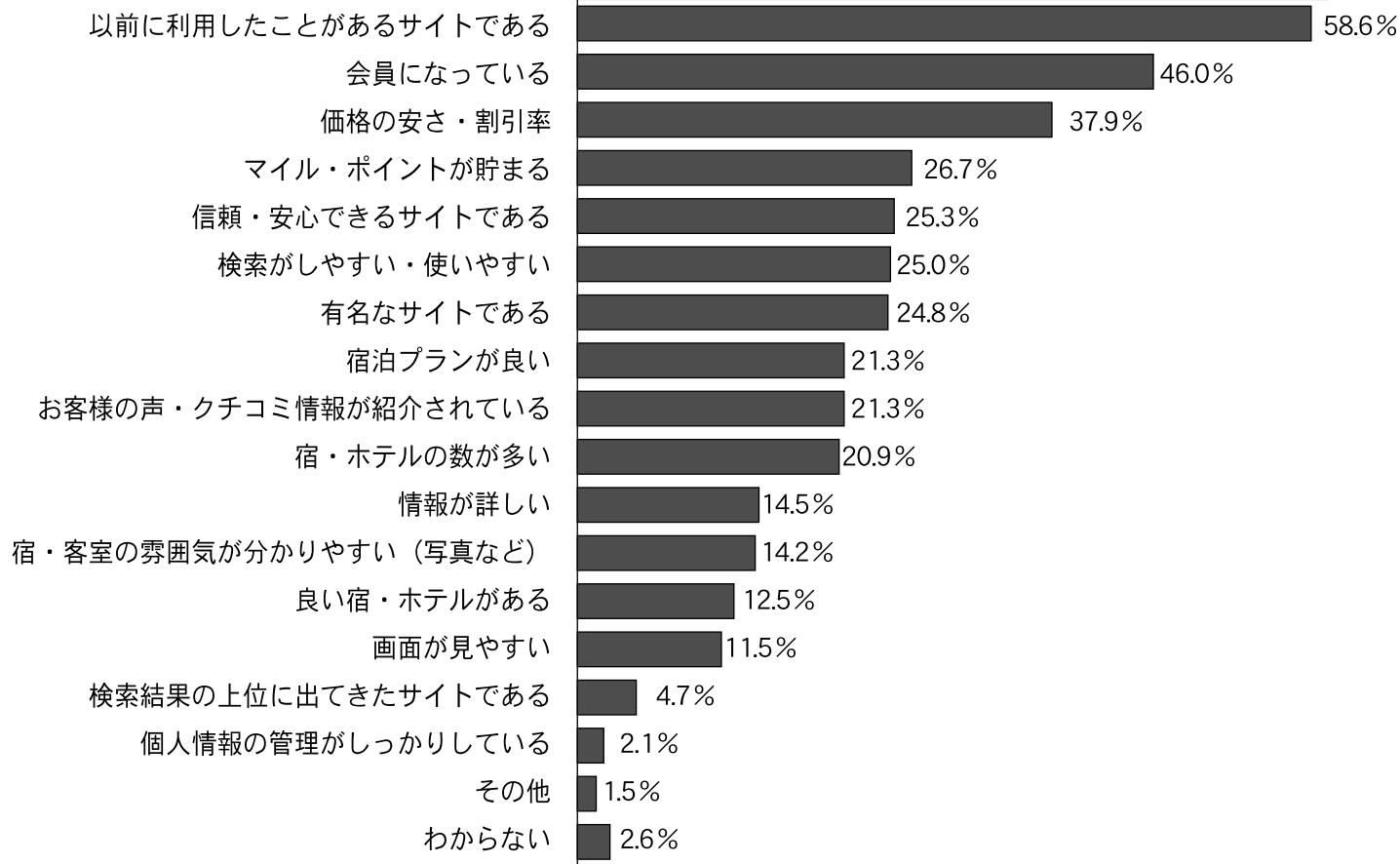


3人に2人が国内宿泊を実施

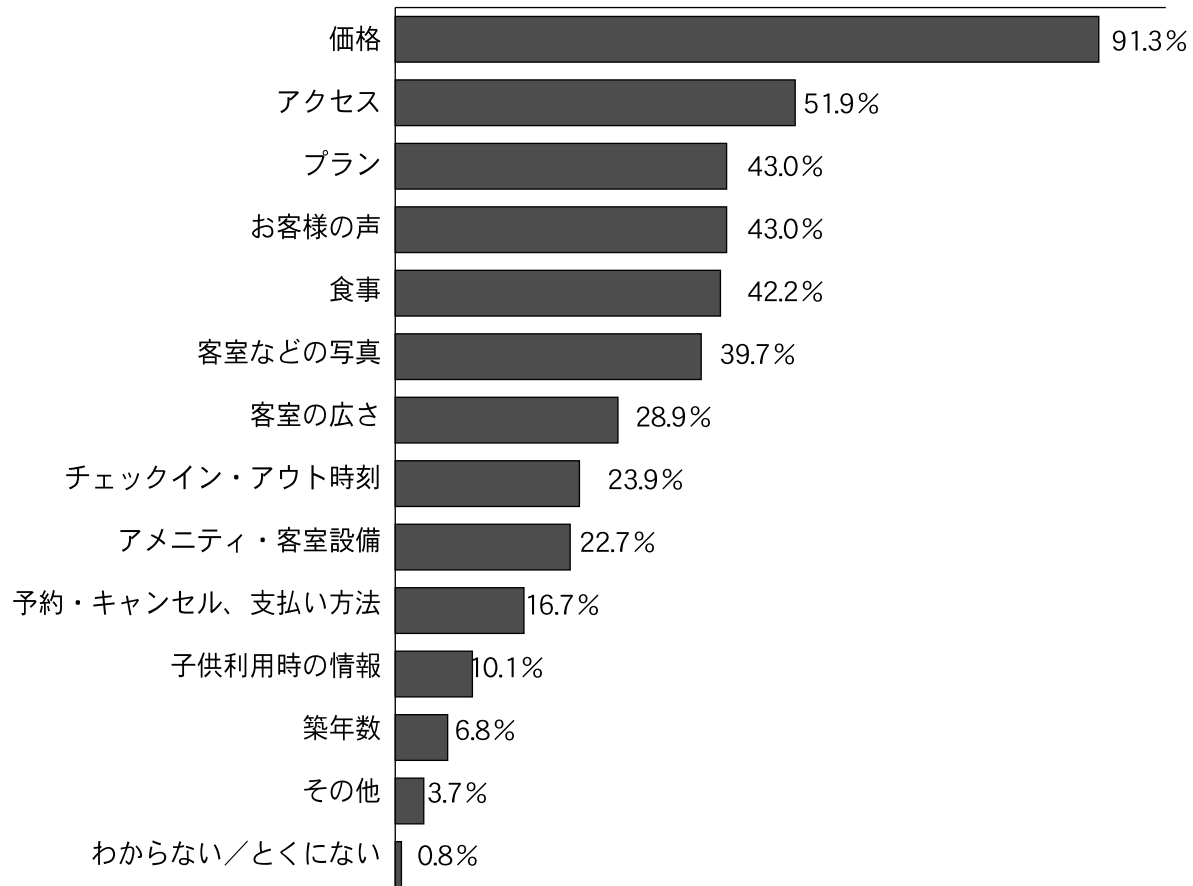
どの旅行情報サイトで予約をしたか。(単一回答) N=1421



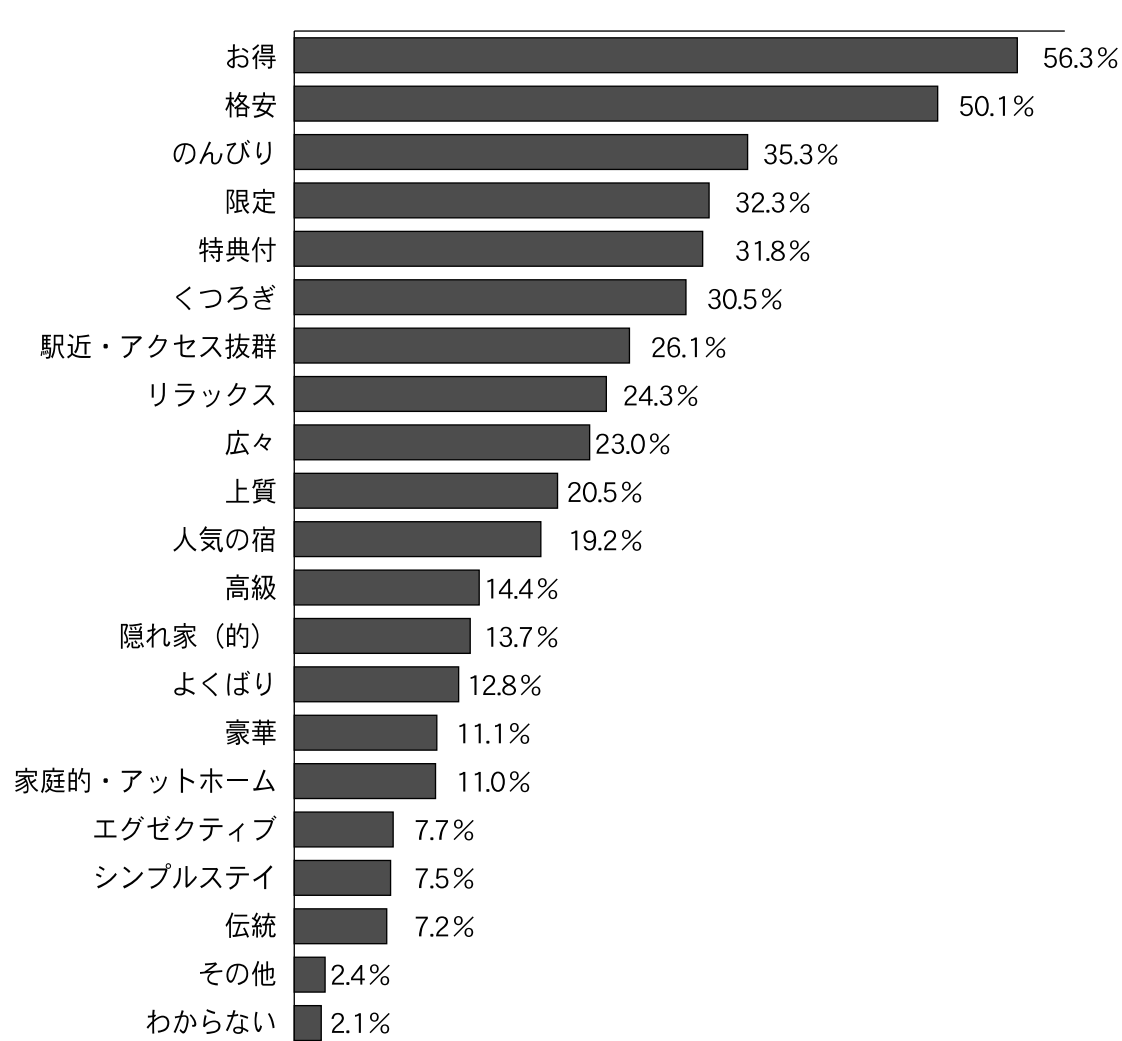
その旅行情報サイトで予約をしたのはなぜか。(複数回答) N=1421



旅行情報サイトに掲載されている宿・ホテルなどの情報について、重視して見る項目は何か。(複数回答) N=1421



旅行情報サイトで宿・旅館・ホテルを紹介する際のフレーズについて、惹かれるものはどれか。(複数回答) N=1421



3人のうち2人が過去1年に宿泊を伴う国内旅行をした。インターネットが運営するネットリサーチ「デイトラブ」が実施した「国内旅行の宿泊予約」についてのアンケートで、このような結果が出た。予約方法や利用している旅行情報サイトなどについてまとめている。調査日は2008年5月14～22日、モニター9862人から回答を得た。

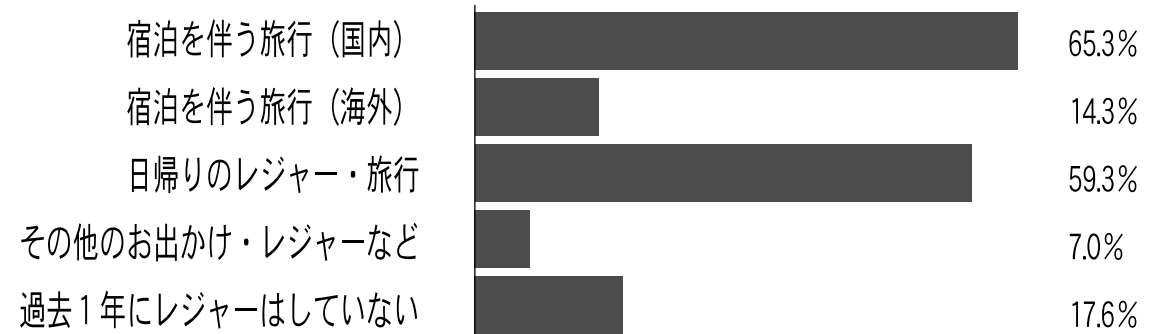
デイトラブ調査

過去1年に行ったレジャー上位であった。予約方法は、「旅行情報サイト」が最も多く29.8%と3割近くを占めた。次に「ホテルのHP」18.3%という結果だった。宿泊先を決める際に参考にしたのは、「パソコンの旅行情報サイト」が最も多く54.3%、「パソコンのインターネット」40.9%、「パソコンのインターネット」31.1%と続いた。また、「パソコンの旅行情報サイト」が37.0%と続いた。このほか、「旅行先」や「宿泊先」で同じ位の値だったが、「ホテルのHP」については、「宿泊先」の方が10%以上多い。また、「行き先」と「宿泊先」は、「ガイドブック」と「旅行代理店」の順位が違っており、「宿泊先」は「旅行代理店」の方が

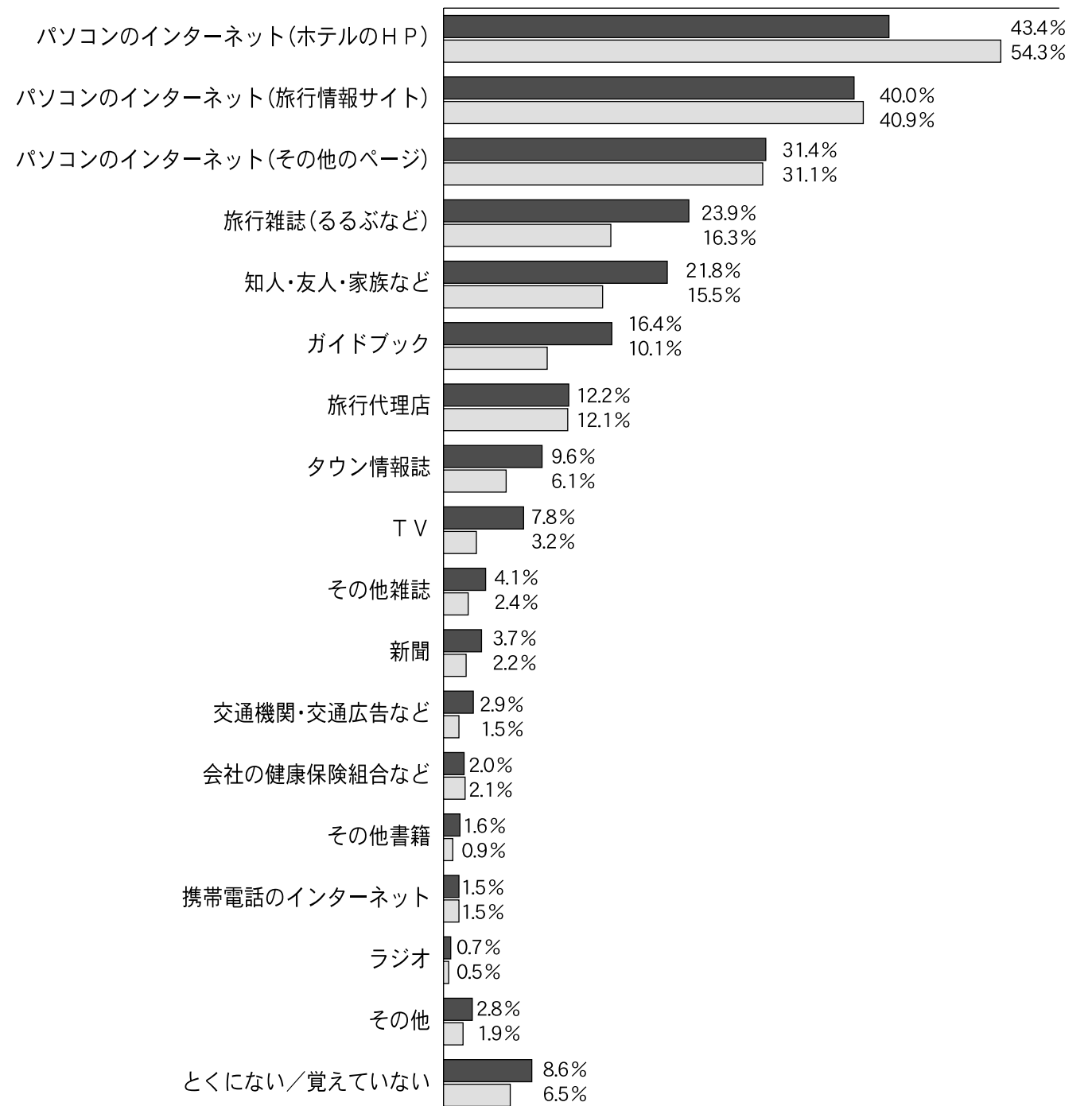
上位であった。予約方法は、「旅行情報サイト」が最も多く29.8%と3割近くを占めた。次に「ホテルのHP」18.3%という結果だった。宿泊先を決める際に参考にしたのは、「パソコンの旅行情報サイト」が最も多く54.3%、「パソコンのインターネット」40.9%、「パソコンのインターネット」31.1%と続いた。また、「パソコンの旅行情報サイト」が37.0%と続いた。このほか、「旅行先」や「宿泊先」で同じ位の値だったが、「ホテルのHP」については、「宿泊先」の方が10%以上多い。また、「行き先」と「宿泊先」は、「ガイドブック」と「旅行代理店」の順位が違っており、「宿泊先」は「旅行代理店」の方が

ついでに46.0%と続き、「価格の安さ・割引率」37.9%よりも多かった。一度利用登録したサイトを、その後も利用しているというものが伺える。また、「検索がしやすい・使いやすい」25.0%よりも「信頼・安心できるサイトである」25.3%の方が、わずかに多く回答されている。旅行情報サイト内の「ホテルの情報」について重視項目を尋ねたところ、以上に上り、圧倒的に2番目に多い「アクセス」は51.9%と半数を超えた。以下、プラン43.0%、「お客様の声」43.0%、「食事」42.2%、「客室などの写真」39.7%と続いた。旅行情報サイトで「ホテルを紹介する際のフレーズ」で最も人気があったのは、「お得」56.3%、「格安」50.1%と続いた。価格の安さを感じるフレーズに惹かれる人が多いことが伺える。結果となった4番目は、限定32.3%、5番目は特典付き31.8%と、「特別な」を感じさせるフレーズも人気があるようだ。

あなたが過去1年間に行なったレジャーは。(複数回答) N=9862



行き先、また、宿泊する宿やホテルなどを決める際に、参考にしたものは。(複数回答) N=4858



宿泊する宿・ホテルなどはどんな方法で予約をしたか。(単一回答) N=4776

